

「はたけのカーニバル」  
(E.タ) 田島征三／作

はたけのせわをしていたおじいさん。  
「そうだ、こんやはあらまつり、うれいな、  
おじいさんが、うきうきでかけていくと、  
はたけのくさも、あしたちも、じぶんたちの  
あまつりをはじめました。

はっぱでポスターをつくり、みんなで  
てのしくかどります。

ジャグリングにブレイクダンス、アクロバット、  
たまのり、… おじいさんがかえってきても、  
カーニバルはあわりません。

夏の月夜に畠に行つてごらん。  
もししかしたら、  
カーニバルが見られるかも？

「ジョゼフのにわ」(E.キ)  
チャーレス・キーピング／作

ジョゼフのいえに、うらにわがあります。  
しかし、うらにわには、おもしらないし、とりもゆこいません。  
あるのは、さひたてつのからくただけ。  
ある日、くずやのあじさんのよびごえをきいたジョゼフが、うらにわに  
あたかはものもつていくと、あじさんはかわいになえぎをいはんと  
くれました。 ジョゼフは、なえぎをがらんとなつたうらにわに  
もつていきました。 さて、なえぎはどうなつたでしょうね？  
ふしきりは絵の、ふしきりはおはなしです。

「はちうえは ぼくにまかせて」(E.グ)  
ジーン・ジョン／作 マーカット・ジョン・グレアム／絵  
トミーは、はちうえのせわがじょうすうです。  
ある日、おかあさんがかえってくると、うちじゅう  
うえきばちでいっぽいです。 わけをきくと、  
はつやすみのあいだ、りょうすううちのはちうえを  
あずかって、せわをひきうけたというのです。  
トミーは大はりきりですが、おとうさんはよつべき、  
「こんなこと、いつまでつづけよつもりなんだう。」  
さあ、トミーのはちうえのせわは、いつまで  
つづくのでしょうか？

「どろんこハリー」の名コンビが  
あくります。

「スマレヒメのにわつくり」  
ハーライン・オラム／文 スザン・バーレイ／絵  
自分で考えた庭であそべたら、すき  
だは！と思ったことはありませんか？  
スマレヒメは、やさいばたけご自転車に  
のついて、そう思ったのです。  
そして、すぐにせっけい図をかきました。  
おとうさんの王さまも、おかあさんのおきさま  
さまも、さんせいしてくれたので、おしゃの  
みんなが、ほんとうにつくってくれました。  
できあがったにわみて、スマレヒメは  
いいました。

「このにわは、みんながにわなの、  
見てちょうだい…みんなが楽しめる  
でしょう」  
さあ、みてさんも、お入りなさい。

「ねこさんかぞくの  
みどりのカーテン」(E.ツ)  
(E.バ) 津田直美／作

ある日、ねこさんのおかみさんは、にこにこしながら、かいものから  
かえってきました。 かいものかごからでてきたのは、アサガオ、  
ヒヨウタン、フウセンカズラなど、たくさんの中。  
かぞくみんなで、どうぐをそろえ、タネをまきました。  
みどりのカーテンづくりのはじまりです。

どうぐのえらび方から しょくびのせわのし方、カーテンの  
つくり方など、分かりやすく書いてあって、そのうえ  
地球のかくこうにもやさしいえほんです。  
うちでもやってみたくなりますよ！